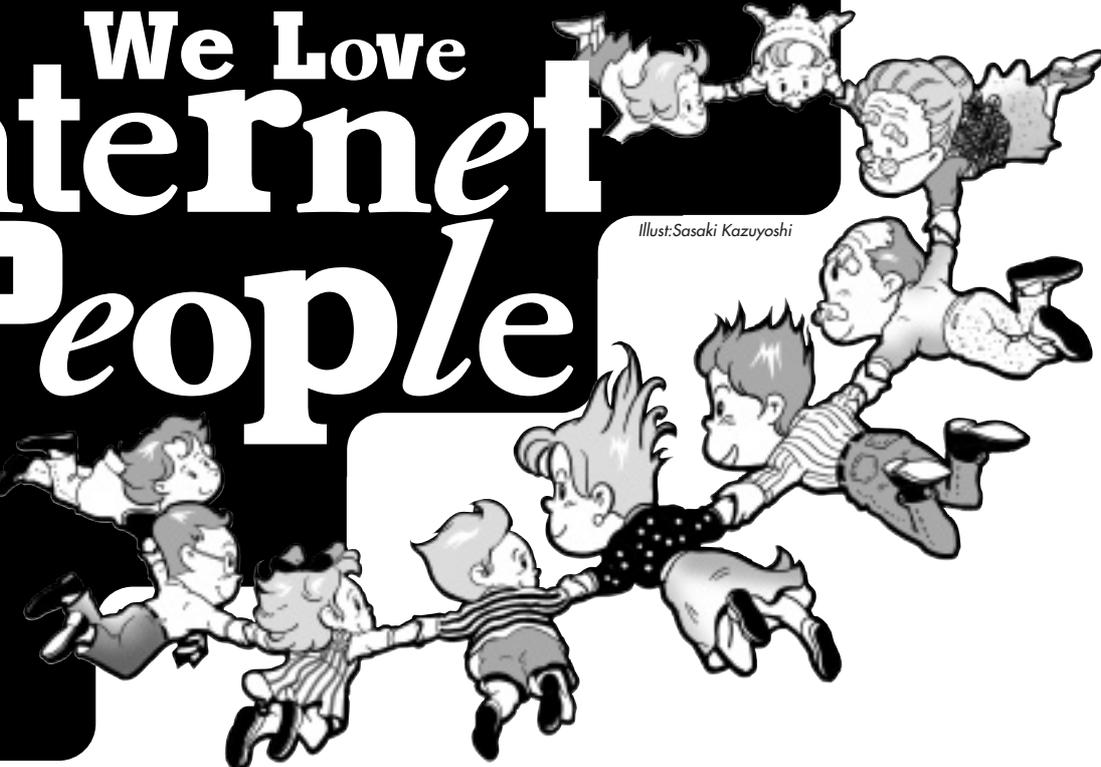


インターネットのCOOL & FOOLが大集合!

We Love Internet People

Illust:Sasaki Kazuyoshi

このコーナーは、インターネットピープルの皆さんと編集部を結ぶページです。皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。Let's Access!



Reader's Voice

いつも拝見させていただいています。貴誌はインターネット業界の**デファクトスタンダードペーパーメディア**となっていると考えます。これからもインターネット業界におけるオピニオンリーダーとしての役割を、自覚と誇りを持って果たして下さい。

(reikoさん)

8月号の「ホームページラクラク管理術」は、実際にホームページを作っている者としても面白かったです。ところで、最近某NTのCMで「インターネット接続できるところまで全部こちらでセッティング」というのをやってましたが、あれってどうかと思っています。全部やらせれば最初は確かに楽だけど、**ちょっとわからないことが出てきたらもうおしまい**じゃないですか(周りに教えてくれる人がいればいいですが)。とりえず何でも自分でやってみるべきだと思うのは、少数派の意見なんじゃないかな?

(神奈川県 山田さん)

創刊号から1号もかかさず大切に保管しています。創刊当時に比べずいぶん広告が増えた分厚くなってしまい、保管場所に困っています。そこで、今後発行される分からも**CD-ROM化していただければ助かる**のですが、いかがでしょうか。

(yokotaさん)

毎回毎回、ボリュームがあって困ります。毎回買いつつ、**読み切れぬまま、また次を買ってしまう私**はどうしたらいいですか?

(Chuさん)

先日ラジオでウィンドウズ98の話題をしていました。インストールした人の大半がフリーズしたとか。購入予定だったのに考えてしまいました。ま、どっちにしろパソコン初心者なので**電機屋さんにインストールを頼もうか**と思うくらいですが、トラブルがあっても絶対自分で解決できないですから。暑い夜に怪談よりも怖い話で超寒かったです。(タリエルさん)

私はタイに長く住んでいて、インターネットを現地で使っていたのですが、日本のインターネット事情についてよく知らないで、とてもためになっております。あっちでは電話料金は固定だったので、電話代の心配はあまり必要なかったのですが、日本はそうもいかないで大変です。とりえずは、ISP接続+テレホーダイが一番安いのでしょうか。なんとか**タダでできる方法**はないのでしょうか。(拓真さん)

会社のインターネットの担当者になった。パソコンを使っていてe-mailを持っており、インターネットでネットサーフィンをしたことがあるから。……これは大抜擢なのかはたまた面倒臭いことをおしつけられたのか。ある日突然**ウェブマスター**になってしまったこの事実。

(icchiさん)

(八ガキの左下のマークを指して)これは何? **馬? カッパ?**

(匿名希望)

8月1日の某深夜ラジオでウィンド現在、自宅からはダイヤルアップ接続で利用しているが、これを専用線接続にグレードアップしたい。だが日本での専用線接続にかかる費用は非常に高額であり、これに対処するための方法(CATV、無線IP接続、その他)について、できるだけ早い時期に特集等を組んでいただけるとありがたい。現在、一番現実的な方法としてはCATVかと思っ

てはいるのですが、これをサポートするCATV提供業者におけるインターネット接続提供への取り組みには、**まだ消極的な業者がほとんど**である。この点についても、今後の方向性としてどうなのか? ぜひ、知りたいところである。

(酒田さん)

*8月号の「衛星・CATVインターネットの実用性」がお役に立つかと思ひます。ぜひ一読を!(編集部)

from Editor
あなたが最近感じたことや思ったことをメールしてください。詳しくは317ページを!

テキストで表現する
五七五の調べ



第七回

インターネット
川柳大会

あなたのインターネットにまつわる思いを
川柳で表現してください。

ここだけは我慢するのだ パソコン前
書いてすねえ。でもパソコンも熱で暴走しちゃ、ネットに「さじやないから、クーラーがガンガンきいて寒いけど、我慢してね。
(北海道 関根政実さん)

ウェブマネー 買い物できる ウェブがねえ!
……ヤバイ??
(匿名希望)

ダウンロード 容量大きくて 1時間
ひたすら待ち続け、になつて、ついに長いダウンロード時間。
あなたは「さじやないから、クーラーがガンガンきいて寒いけど、我慢してね。」
(マッコウさん)



このコーナーは、昨今のインターネット業界を取り巻く「カタカナ英語」のわかりにくさに業を煮やした「カタカナ英語撲滅隊」が、わかりやすい日本語に直したり、新しい意味を提案していきます!

インターネット
カタカナ英語撲滅隊!

日本人なら日本語を使い!

【IPアドレス】
自分や企業でネットワーク環境を構築する必要のない人には、ほとんど意識されないものだけに、今日では転じて「人任せ」の意味に使われることが多い。
(例)「あいつ、IPアドレスだから、何を頼んでも自分じゃやらないぞ」

【VPN】
江戸時代、日本は鎖国をしていた。海外への窓口は長崎の出島しかなかったというのが通説であるが、さすがの幕府も人里離れた山奥のある村までは、目が行き届かなかった。
そこには今日でいう飛行機かUFOがほとんど毎日のように飛来していて、江戸時代でありながら、まるで今日の都会のように何でも欲しいものは手に入る生活があったといふ。

しかし、明治維新後、新政府はあまりにも進んだ文明を公表するのを恐れ、この村の住民ごと海外に移住させてしまった。
今日、インターネットや衛星放送などで突然回線に不具合が起きるのは、この村の住民の子孫が根拠をこめて海外某所から、日本に発する怪電波が原因と言われている。

(以上2点北海道・関根政実さん)
今回をもってこのコーナーは終了いたします。ありがとうございました。

私の ホームページ 自慢!

あなたの自慢のホームページを紹介します。どれも作者の自信作です。とくにご覧あれ!

自治体の情報公開度は?

「市民オンブズパースンくるめ」

URL <http://www.ombuds-kurume.jpn.nu/>

福岡県久留米市のオンブズマンが開設しているホームページです。「行政監視」・「環境オンブズマン」の活動を紹介しています。ウェブサイトの活動では、「オンブズマンがつけた自治体ホームページの通信簿」を掲載中です。全国47都道府県の自治体のホームページを「情報公開」に着目し、ランキングをつけて通信簿として発表しています。あなたの住んでいる所は何位か確認してみませんか? またオンブズマン活動のHOW TOや、各地のオンブズマンの活動状況を新聞記事より紹介しています。週に1回を目標に更新しています。まずは、気軽にご覧ください。

(市民オンブズパースンくるめさん)



オリジナル4コママンガの世界
「毎日がにちようび」

URL <http://www.hi-ho.ne.jp/yukakos/>

日々の情けないできごとを笑いに変える、前のめりなオリジナル4コマ漫画。週に1~3本の新作UPを試みるあたり、すでに恐いモン知らずである。「楽しいことは、いいことだ」を旗印。のほほん度200%(笑)

(なるとさん)

アーチェリーを愛する
すべての人に!

「Welcome to Archery World」

URL <http://www2s.biglobe.ne.jp/~archery/>

1970年代、日本のアーチェリーは黄金期にありました。オリンピック、世界選手権で毎回メダルを獲得し、国内ではポーリング場にアーチェリー場が併設され、待ち時間ができるくらいブームでした。ところが、最近の日本のアーチェリーは競技、普及ともに元気がありません。男女・老若を問わず、そして身体にハンディキャップのある人も同じ競技が差別なく楽しめる「アーチェリー」です。ぜひ、一度トライしてみてください。(亀井孝さん)



FLASHページめぐりなら
まずはココから!!

「straight FLASH!!」

URL <http://marunaka.homing.net/straight/>

FLASHやDinamicHTML、JavaScriptなどのアクティブコンテンツを使ったホームページ限定のディレクトリー型検索エンジンです。「動的コンテンツを見るのが楽しみ」という方はスタートページとして、「自分のページにもこういう技術を取り入れたいなあ」と考えてる皆さんには、既に公開なさってる方々のテク

ニックを吸収するためのリンク集として、そして「自分のページはこういったテクニックで満たされている」というウェブマスターさんには、あなたのサイトへの入り口的役割として、ガシガシ利用しまくってください。また、「かっこいい、デザイン重視のページを探したい」「楽しい感じのページを探したい」といったホームページの持つ印象で検索を行う「印象識別サーチ」や「更新状況サーチ」等が可能で、きめ細かく、大手サーチエンジンにはないユニークな検索を行うこともできます。(marunakaさん)

プロのソムリエがアドバイスする
貴重なワインの宝庫!

「山仁酒店」

URL <http://www2.odn.ne.jp/~aab72090/>

一流ソムリエが大絶賛するような貴重なワインやブルーグラス等いろいろな雑誌で紹介されている幻ワインが本当に買えるのがここ(株)山仁酒店のページ。ソムリエ協会の酒販業界における最高峰の資格、シニアワインアドバイザーが驚くことに2人も勤務していて、楽しいコメントを添えて、素晴らしいワインを月替わりで紹介してくれます。

(大橋健一さん)

マウンテンボードにチャレンジ!

「まんぼう倶楽部」

URL <http://www.din.or.jp/~mambou/>

新しいライト感覚のフィールドスポーツ「マウンテンボード」の専門ホームページです。常に、タイムリーな情報とオリジナルな感覚でマウンテンボードを紹介しています。初心者向けのワンポイントレッスンやイベント情報、おすすめスポットなどがコンテンツとして盛り込まれています。さあ!この夏、マウンテンボードにチャレンジしてみましょう!

(清城Zさん)



青森発の
バーチャルコミュニティ
「じょっぱり商店街」

URL <http://www.joppari.ne.jp/>
青森の反骨のバーチャルコミュニティ「じょっぱり商店街」です。津軽弁によるジャンル分けなど、他にはないページ登録コーナーなど、全体に津軽がただよっています。寺山修司や棟方志功・高橋竹山などを生んだ青森ならではのサイトです。お気軽にホームページ登録しにきて下さい。(ハレム林さん)



パームパイロットのソフトを
毎日レビュー!

「Muchy's Palmware Review」

URL <http://www.fk.urban.ne.jp/home/muta/>

パームパイロットのソフトに関する最新情報満載のホームページです。送金の仕方や日本語の方法など、初心者にも優しいページとなっております。また、まだまだ英語のソフトが多く、パームパイロットのソフトですが、すべて日本語でレビューしていますので、中級者も安心。アップデート情報、1日1本Reviewを追加していますので、上級者も満足いただけると思っております。是非一度ご覧になって下さいませ。

(Muchyさん)



from Editor

このコーナーで自慢のホームページを紹介したい方は、ページタイトルとURLに紹介文を添えて、編集部までメールしてください。紹介文に込められたあなたの熱意がアクセス増加につながります。詳しくは317ページを!

5月号の記事を読んで、 配線導入を決意した人が現れた!



その3 CATVとISDNの引き込み完了!

7月31日。今日は新居への引越し、そしていよいよ回線の引き込み工事だ。引越し荷物が山積みの中、東急ケーブルテレビの工事部隊3名が到着した。情報配電盤と外壁の引き込み箇所を見もらって、工事開始。まずは電柱に張ってあるCATVケーブルから我が家



へケーブルを引き込む(写真右上)。配電盤に来たケーブルは分岐され、映像用とインターネット用に分かれ、映像用はCATV対応のブースターで増幅後、6分岐して各部屋へ送られる。一方のインターネット用はCATVモデム(米テラヨン社製・東急ケーブルより貸与)でLANの信号に変換され、8芯のツイストペアケーブルでハブ(8ポートタイプで端子チェックの作業中。

アクトン製。なかなか可愛くて気に入っている)に送られ、各部屋用に分岐される。配電盤内の配線はこの日のために事前にやっておいたので接続作業的にはこれで完了。各端子で雑音や利得のチェックをしてもらい(写真左)、いよいよインターネット接続のテストだ。CATVモデムの出力端子にテスト用に持ち込んだNECのノートパソコンをダイレクトで繋いでインターネットエクスプローラを起動。出た! 速い。一瞬で日本標準時のホームページが立ち上がった。ブックマークされたページにジャンプしてみるが、さすが14Mbps。どのページもほぼ一瞬で表示されるではないですか。かつての14.4Kのなんと1,000倍! 実際は上位との接続が1.5Mなのでそれ以上の速さはないそうだが、この体験は驚異だった。

長くなってしまったのでISDNの方は写真をご覧ください(写真右下)。次回は使用レポートです。

下にたれているのが、家への引き込み線だ。



局線からDSU(NEC製・アナログ2ポート付き)に入り、デジタルは送りで各部屋へ。アナログは1、2Fへ1か所ずつ引いています。

いりえまこと 銀座の広告代理店に勤務する43歳。ビデオ・パソコン・キャンプ・家族をこよなく愛するごく普通のオヤジ。
E-mail mkirie@dd.catv.ne.jp

編集部からのお知らせ

AFTERCARE

9月号

「NEWSCOPE」

P.413のIIJのルーター「SEIL」とオムロンのモデム「ME5614E」の写真が入れ替わってしまいました。お詫びして訂正させていただきます。

「マル得ファームウェアアップデート術」

P245の表中で誤りがありました。正しくは「NECAtermIT55」はナンバーディスプレイに未対応です。

「W杯サッカーの情報システム」

P316のなかで、APC社の正式表記に誤りがありました。正しくは「APC(American Power Conversion)社」です。お詫びして訂正させていただきます。

お詫びして訂正させていただきます。

アンケートにご協力を

読者の皆さまの意見を誌面に反映させるためにアンケートを行っています。アンケートの回答には、次の2通りの方法があります。

① インターネットマガジンのホームページからアンケートの入力ができるようになりました。下記URLから、「読者アンケート」の項目をクリックして、アンケートページについて答えていただくという形式になります。そのほかのコーナーも新しくなっていますので、この機会にぜひご覧ください。

URL <http://internet.impress.co.jp/>

② はがき

本誌に添付されているアンケートはがきに回答を記入して郵便ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。

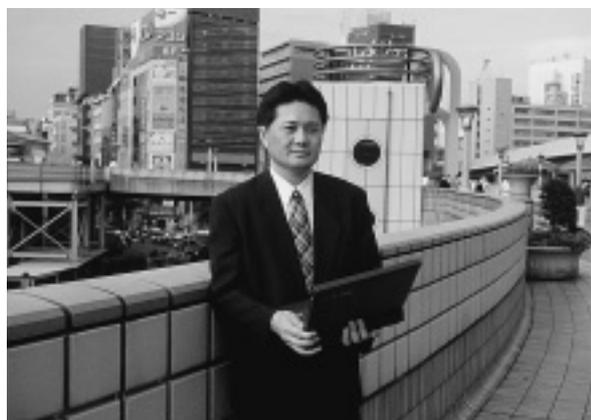
アンケートにご協力いただいた方の中から、毎月抽選で10名様にインターネットマガジン特製折りたたみ傘をプレゼントします。ご協力をお願いします。

あの人に 会いたいです!

話題のホームページの作者はどんな人?

INTERVIEW

笛田進吾さんの公開するホームページ「東京小さな旅」は、95年12月以来、トップページへのアクセス数が13万を突破。花火やお花見を紹介したページには単独のアクセスもあるから、実際のアクセス数はおそらくその2倍以上だ。これまで数々の雑誌や検索サーバーで紹介され、テレビにも登場した人気サイトの秘密はどこにあるのだろう。コンテンツ作成と運営のノウハウをお聞きした。



「東京小さな旅」の作者、笛田進吾さん。

どんなきっかけでホームページを始めたんですか？

私はパソコン関連の仕事をしています。といっても営業ですから理科系でもないし数学は苦手なんです。仕事上、新しいインフラについて知らないと話ができない。ホームページを始めた3年前は、インターネットに火がつくつかないかの頃で、知らない仕事にならないので、会社では既に使っていました。自分でもプロバイダーに入りました。当時は、日本のサイトはそんなに多くなくて、はっきり言って全然つまらないものばかりだった。で、何事も自分でやってみないとわからないから、人のページを見るんじゃなくて、自分でページを立ち上げようと決めたんです。内容をどうするか

り、立ち上げようと決めたのが先でした。

そのあとで、「東京小さな旅」というコンテンツを決めたんです。

ええ。自分に何ができるかなと考えまして、趣味はスポーツとかいろいろありますけど、それでページを作って人様に情報を発信できるほど深く掘り下げているわけじゃない。海外旅行も好きで、学生の頃は

っこう「猿岩石」してたんですけど、過去の話だけだと、これから続かない。

どうせやるならたくさんの人に見て欲しいし、どんな人がどんな目的で見るかという反応も知りたかったので、長続きするページを作りたいんです。そうすると、やはり身近なことになるんですね。東京に今住んでいる人の半数は東京以外の出身だと思んですが、私は東京生まれの東京育ちで、その人たちよりは、たぶん東京について知っている。お店とかは詳しくないんですけど、会社で話していると、みんなの知らないちょっとしたことがわかるんです。これなら長続きするし、取材もしやすい、極端に背伸びはしないで、自分の目の高さくらいスタンスのほうが続き、好感を持たれ

るんじゃないかと思ったんです。

どのページもきめ細かい情報が写真と一緒にほどよく載っていると思うんですが、どんなふうにしていったんですか？

まず「東京ウォーキングツアー」というコーナーを作って、最近あまり更新してないんですけど、「都内を歩いてみてどうだった」というもので。そこから派生して「東京公園あれこれ」を作って、東京にはわりといい公園があるんですよ。そんなふうにして、ネタがつきやすくなるんですけど、いまいちインパクトに欠ける。これは季節物があるなと思ったんです。季節物をやると、四季折々の東京の表情を伝えることができる。桜、新緑、梅雨、夏だと花火、紅葉、冬は雪、初詣。それを追いかけていけば、ネタはいくらでもあるんです。それに、季節ネタというのは、やってから1年経つとラクになるんです(笑)。東京は変化が激しいと言っても、たとえば年中行事なんかは変わらないですから。花火大会の日程もカレンダーですれるくらいなので、元の中身はほとんどそのまま、新しいものだけ足せばいい。

愛用のデジカメとともに、ページ中の写真はほとんどこれで撮影されている。





今まで東京にいて、いろいろ回っていたといっても、写真は全部新しく撮っているわけですね。大変だと思いますが。

出かけるのは嫌いじゃないので、全然苦になりません。カメラも別に本格的にやっているわけじゃないけど、写すのは好きです。最初の頃は普通のカメラで撮ってスキャナーで読み込んでましたが、あまりきれいじゃないので、今はデジタルカメラで撮っているんでラクですよ。

企画は電車の中で考えることが多いです。朝の電車の中は本も読めないし暇だから、自分で企画会議をやる。面白いネタはないかな、どういう切り口にするか、どういうものなら見てくれるだろうかと、いろいろ考えます。思いついたらあとは簡単で、その日のうちにサラサラと原案を作って、あとはそれに合わせて写真を撮りに行ったら、2~3日で完成です。ネットワークのいいところは、自分でいいと思ったことがすぐできて、初期投資も何もいらぬことですね。うまくできればみんなに見てもらえて、見た人から意見が来ますから、けっこうすごいメディアですよ。

英語のページもありますね。

あのページは立ち上げたときに作ったんです。当時は日本語と英語の両方のページがあるのが当たり前という感じでしたから。英作文しなきゃならないから、大変でしたよ。さすがに更新するのに大変な労力があるから、最近はギブアップしています(笑)。でも、いろんなところで紹介していただいているらしくて、英文のメールが日に2~3通は来ます。「日本に行くから、どこがいいか教えてくれ」とか、「日本に行くから会わないか」と。「大学で東洋学を学んでいるけど、こういうことについて教えてくれ」から、なかには勘違いして「日本に行くからガイドしてくれないか」というものもある(笑)。外国の方は具体的な質問が多いですね。日本の方も含めて、日に7~8通メールをいただいているので、なかなか全部に返事は書けないですけど、問い合わせにはできるだけお答えするようにしています。感想だけ書いて下さる方も多いんですけど、なかなか返事を書く暇がなくて申し訳ないんです。

ホームページを作って公開している人から、なかなかアクセス数が増えないという声をよく聞きますが、そういった人に何かアドバイスはありますか？

自分の世界だけで作っていたら、あまり見てくれないと思います。よく、独りよがりのページってあるじゃないですか。自分の趣味を羅列しても、アクセスしてくる人は別にその人の趣味を見にくるわけじゃない。もっと情報を取ろうとか、なにかきっかけがあってきているんです。家族のこと、趣味のこと、写真とかいろんな内容があるページって、たぶん二度と行かないと思うんです。だから、まず、特定のテーマに絞ったほうがいい。インターネットってニッチな世界じゃないですか。テレビが一番マスの媒体だとすれば、その下に、BS放送やCS放送があって、一番下がインターネット。たとえば、24時間ポケモンをやっているテ

レビはないけど、インターネットなら十分にそれが可能になる。そういうことをみんな求めているんじゃないかと思います。1回は来てもらえるけど2度目はなかなかというページは、コンテンツとして人に訴えかける部分が欠けているんじゃないかとか、率直に自分で分析をしたほうがいいと思います。もっと見てもらうにはどうすればいいか、自分で客観的になってみることでですね。

< Interview & Text by 鈴木康之 >
URL <http://www.asahi-net.or.jp/~hh5y-szk/>



東京小さな旅 - Tokyo Journey ~
URL <http://www.asahi-net.or.jp/~by3s-fet/>

投稿

このコーナーは読者の皆さんからの投稿で成り立っています。

大募集!

ぜひ! あなたのメールアドレス帳に『インターネットマガジン投稿(ip-box@impress.co.jp)』を登録してね!

「インターネット川柳大会」

インターネットについての出来事や意見を、粋な川柳に変身させてください。ぴりっと風刺の効いた作品をお待ちしています。

「インターネット大奮戦!」

TAの設定で四苦八苦、FTPのやりかたがわからなくて悪戦苦闘.....など、インターネットにまつわる諸々の苦勞したこと、試行錯誤したことをレポートしてください。あなたも身に覚えがあるはずだ!?

このほかにも「Reader's Voice」「私のホームページ自慢」本誌の感想、新企画案など、身の回りで起こったインターネットにまつわることやアイデアを、どんどんメールでお送りください。なお、投稿の際はお名前(ペンネーム可)、ご住所も明記してください。

NEW!

インターネットマガジンのホームページからも投稿できるようになりました!

URL <http://internet.impress.co.jp/>

掲載された方には特製折りたたみ傘をお送りいたします。投稿お待ちしております!



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp